活発な活動を展開している京都・栃木・山梨

京都

府民みんなが積極参加する
モデルフォレスト運動

［京都モデルフォレスト協会］

栃木

「元気な森づくり」で
森の恵みを後世に伝える

［とちぎの元気な森づくり県民会議］

山梨

意義ある森づくり活動を
スムーズにサポート

［やまなし森づくりコミッション］

京都 「京都モデルフォレスト」の活動

グローバルな情報交換のなか 高いレベルの運動を目指して

府域の七五パーセントを森林が占める京都は、森林の恵みを生活に取り入れ、木を生かした文化や産業を営んできました。しかし、ここ半世紀の大きな社会経済変化によって人と森との関わりが薄れ、森林の荒廃が進みました。この貴重な府民共有財産を守り育てていくためには、府民みんなが森林づくりに取り組み、人と森との関係を取り戻していくことが大切です。すでに京都府内では、里山の手入れに取り組む森林ボランティアの人々、森林づくりの資金を提供する企業など、森林づくりの運動は広がり始めていました。そこで平成十八年十一月、こうした運動の輪を広げ、より多くの府民参加による森林づくりを進める一歩として、運動の核となる「社団法人京都モデルフォレスト協会」が設立されました。

森林ボランティア養成講座の様子

モデルフォレストとは、「森林を核とした、地域ぐるみで行う持続的な地域づくり活動」のこと。森林づくり運動には、企業、住民、ボランティア団体、地域行政、大学など幅広い層から参加して、地域ごとにさまざまな取り組みをしています。たとえば、タケノコの名産地長岡京市では、二年前、荒れていく森林を復活させようと協議会をつくり、森林所有者、ボランティア団体、森林組合、企業、大学、行政などが参加して、話し合い、協力し合い、それぞれの得意なことを役割分担しながら森林づくりを進めています。協会は地域の森林と住民や企業などをつなぐパイプ役となり、住民や企業などからの募金を森林づくりに生かし、普及啓発など運動を推進するために必要なさまざまなことを行っています。地域の自主的な活動を支援する、緩やかな推進母体の役割を担っています。協会は、普及啓発活動として、間伐、抜打ちなどの森林整備体験教室、森の健康診断リーダー養成研修、森林ボランティアリーダー養成講座、森林保全活動事例の報告、情報誌『以森伝心』の発行など幅広く行っています。『以森伝心』は、森と人・地域との関わりをさまざまな角度からとらえるなど、森林と森林づくりに必要な情報をきめ細かく提供し、各地域で活発に行われている森林づくり活動の内容・様子も紹介しています。

京都モデルフォレスト協会は、この三月、モデルフォレスト運動提唱国カナダのオタワで、世界に広がりつつあるこの運動のネットワークに日本で初めて参加しました。一九ヵ国目、四〇番目の地域です。よりグローバルな情報交換のなかで、高いレベルの運動を目指し、世界に情報発信してこうとしています。

また、モデルフォレスト運動は、「美しい森林づくり推進国民運動」と理念を共有するもので、その有効な運動形態といえます。京都モデルフォレスト協会は、国民運動と情報を交換しながら森林づくりを進めていきます。

定期的に間伐体験教室を開催

今年４月にカナダで交流提携の合意文書を交わした